

整形外科用パルス洗浄器

ALLONE LAVAGE オールワン ラバージ



● クリーニングロッドの使い方

チップが詰まった場合



クリーニングロッドをチップに挿入します。



クリーニングロッドを使用し詰まりを取り除いて下さい。

本体部が詰まった場合



チップを外し、吸引部(下側の穴)にクリーニングロッドを挿入します。取り除いて下さい。



※洗浄液噴出部(上側の穴)の青いバルブを触らないように注意して下さい。

● バッテリーの外し方



後部のキャップを外します。



バッテリーを引き出します。



本体とバッテリーの連結部を外します。



本体とバッテリーをそれぞれ廃棄してください。

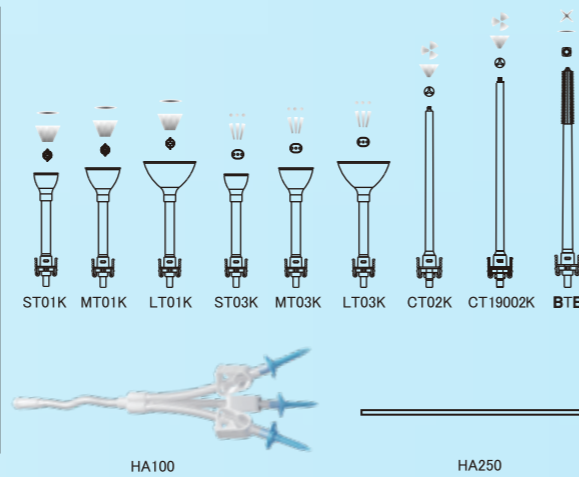
● 本体詳細

商品名	商品コード	入数	JANコード
オールワン ラバージ	2500K1	1セット	4580307862908

- J M D N コード 37026000
- 管理医療機器 クラスII
- 医療機器認証番号 230ADBZX00096000

● アクセサリー (オプションチップ)

商品コード	アクセサリ名	JANコード	備考
※ST01K	コーンチップ Φ30mm	4580307866043	扇状噴霧
※MT01K	コーンチップ Φ50mm	4580307862915	
※LT01K	コーンチップ Φ75mm	4580307862922	
※ST03K	コーンチップ Φ30mm	4580307862960	シャワー噴霧
※MT03K	コーンチップ Φ50mm	4580307862977	
※LT03K	コーンチップ Φ75mm	4580307862984	
※CT02K	髄腔用同軸チップ 169mm	4580307866036	放射噴霧
※CT19002K	髄腔用同軸チップ 194mm	4580307866067	
※BTE	髄腔用同軸ブラシ付きチップ 219mm	4580307865909	十字噴霧
※HA100	ハイドラコネクター 380mm	4580307866005	3 バッグ用
※HA250	クリーニングロッド 285mm	4580307866029	目詰まり除去用



※ 受注生産品

製造販売元

JHM 日本ヒューマンメディック株式会社

〒870-0848 大分市賀来北2丁目16番34号

TEL : 097-549-4140 FAX : 097-549-7470

詳しい製品の情報は下記ホームページにも掲載しております。



<http://www.hyuman.co.jp>

日本ヒューマンメディック

検索

JHM 日本ヒューマンメディック株式会社

ALLONE LAVAGE

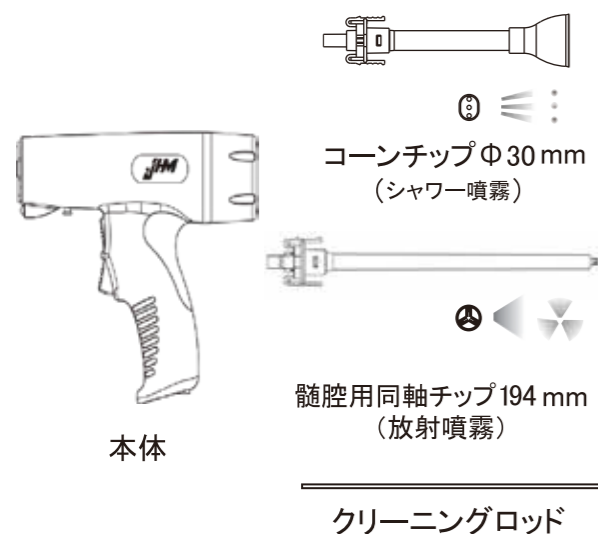
オールワンラバージ



● 基本構成

膝関節用のコーンチップ（ST03K）と股関節用の同軸チップ（CT19002K）が付属しているので、様々なシーンでご使用できます。

セット内容（2500K1）



● 人間工学に基づいた

本体デザイン

握りやすいハンドガンタイプ
人間工学に基づいた設計により
手振れが起こりにくい形状です。

● ワンタッチノズル

チップのつまみ操作により簡単に
着脱が可能です。

● 流量調節

骨組織用（High）と軟部組織用（Low）の
二段階の流量をワンタッチで切り替えられます。

● 無菌操作に優れた二重バッグ梱包



● ON・OFF 可能な LED ライト



● バッテリー内蔵

動線確保に優れたバッテリー内蔵型
安全に取り外し廃棄できます。



● 同時吸引可能

噴射と吸引が同時に可能な
ディスプレイザブル洗浄器です。

● 使用手順

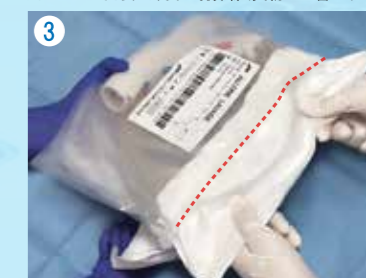


1 外袋の白い開封口が下方になるようにパッケージを垂直に持ち、開封口側に内容物をスライドさせて下さい。



2 外袋の開封口を、内袋に触れないようにゆっくりと注意深く剥がしてください。

※ ---: 内袋と外袋の境界線(実物には書かれておりません)



3 器械出しスタッフはパッケージ外側のどの部分にも触れないようにして内容物を取り出します。



4 無菌エリアで内袋を開封し、全ての内容物を取り出してください。



5 本体とチューブを固定している紐を外します。



6 本体にノズルをセットします。
(カチッと装着音ができるまでしっかり押し込んでください。)



7 髓腔用同軸チップを使用する場合には先端の保護キャップを外して使用してください。



8 針の保護キャップを外し、生理食塩水に針を刺してセットします。



9 吸引器に吸引チューブを繋げます。



10 ライトのストッパーを外します。



11 トリガーの安全ピンを外します。
※安全ピンを引き抜く際には、ピンをまっすぐ引き抜いてください。
(斜めに引き抜くとピンが折れてしまうことがあります。)



12 HIGH(強) LOW(弱)
用途に応じて強弱を調整して使用してください。